

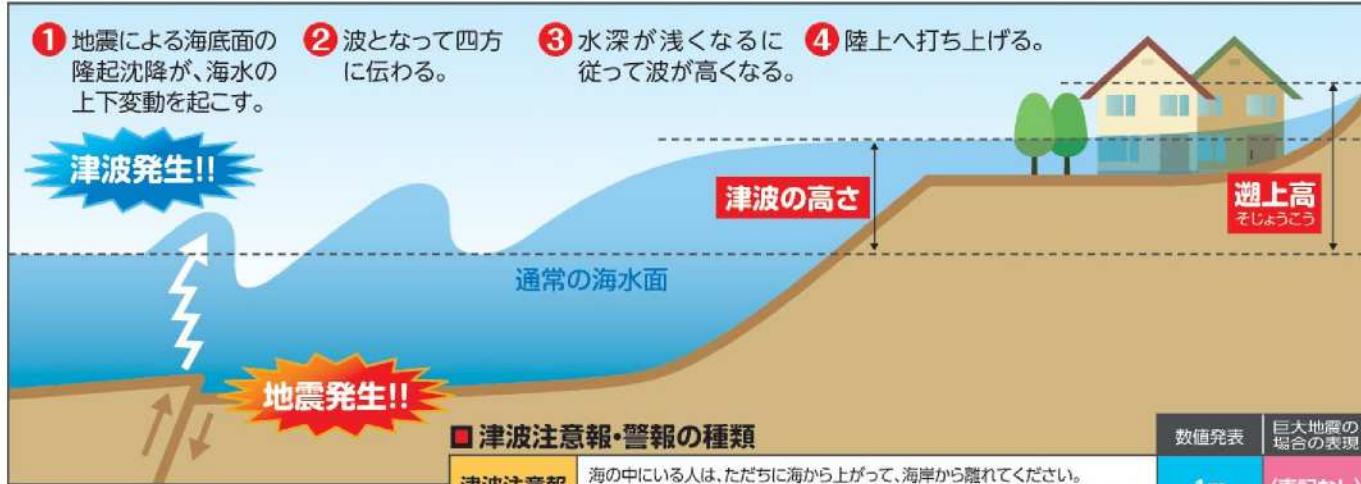
# 津波災害

津波から身を守る最大のポイントは「すばやく避難」です。警報・注意報が発表されたらテレビ・ラジオなどで正しい情報入手し、大きな被害が出る前にすばやく避難しましょう。

## 津波についての予備知識

### 津波のしくみ

海底で発生した地震に伴う海底の隆起・沈降、地すべりなどが原因で、海水が陸地に押し寄せる現象を「津波」といいます。津波は地震だけではなく、海底での地崩れや海底火山の噴火などによっても引き起こされる場合があります。



#### 津波注意報・警報の種類

	数値発表	巨大地震の場合の表現
津波注意報	海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。	1m (表記なし)
津波警報	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。	3m 高い
大津波警報		5m 10m 巨大
		10m超

- 気象庁が発表する「津波の高さ」とは、海岸付近の海面がどのくらい高くなるかをいいます。
- 津波の高さは、海岸や河の地形によって予想された数倍に達することがあります。
- 津波が陸地を駆け上がることを遡上といいます。この高さを「遡上高」といいます。

### 津波の注意点

#### 津波は繰り返し来る!



津波は2波、3波と繰り返し襲ってきます。注意報・警報が解除されるまでは避難していきましょう。

#### 津波のスピードは速い!



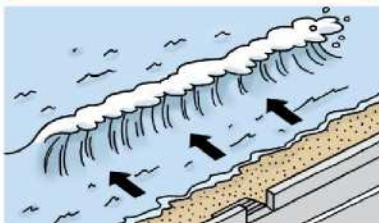
「注意報」や「警報」が出る前に来る津波もあり、津波の速度は海岸付近でも秒速10m程度もあります。

#### 津波の高さに注意!



海岸の地形などによって予想された津波の高さを超える津波が発生する場合があります。

#### 引き潮がなくても注意!



津波の前に必ず引き潮があるとは限りません。地震の起こり方や地形によっては引き潮が起こらない場合もあります。

#### 満潮時は要注意!



満潮時は水位が高くなっているため、津波がより大きくなります。

#### 弱い地震でも要注意!



弱い地震でも揺れが長く続いた時などは津波が襲ってくる可能性があります。

## 津波警報が出たら...

### 津波から身を守るために

#### 避難施設や高い場所へ避難する

指定された避難施設が近くにない場合は、海岸から「より遠く」ではなく、「より高い」場所へ避難しましょう。



#### 注意報・警報が出たら

家族や近所に知らせ、急いで高台に避難して、警報が解除されるまで戻らないようにしましょう。



#### 海岸・河川に近づかない

注意報、警報が解除されるまで海辺や河川には近づかないようにしましょう。



#### 正しい情報を聞く

ラジオ・テレビ・防災行政無線などで、正しい情報を聞きましょう。



## 津波情報に注意!!

日本沿岸で起こる地震による津波の情報は、地震発生後2~3分程度で発表されます。津波の高さは地震の起き方、地形によって異なります。津波情報は予想される津波の高さを津波注意報、津波警報に分けて発表されるので注意して下さい。



えりも町の津波予報区は北海道太平洋沿岸中部になります